

●平成26年度第1回清掃審議会 照会票まとめ

| 委員名 | 資料番号等 | 照会内容の要旨 | 事務局回答 |
|-------------|--------------------|---|---|
| 高橋まゆみ 委員 | 資料6別紙 | ●アンケート項目の追加について ごみ収集の回数は現状でよいか。生ごみ以外の資源ごみの収集日について（農村部は枝葉の処理に困っている） | 今回のアンケートにおいて、今後の分別のあり方（分別数の変更）について意見を聴取することとしており（問9、10）、この結果を踏まえて収集回数についても今後検討していきたいと考えています。 |
| 伊井昭夫 委員 | 資料1 参考資料 P10 | 循環型地域づくりと資源循環型地域づくりの違いは | 「循環型地域づくり」、「資源循環型地域づくり」とも、できるだけ資源を有効に循環利用する地域づくりということで、その意味に違いはありません。 |
| | 資料6別紙 P2 | リサイクル率の元単位を示しては | リサイクル率は以下の計算式によって求めますが、ページ数の制約上割愛させていただきました。 $\text{リサイクル率} = \frac{\text{資源化量}}{\text{ごみ・資源 総排出量}}$ |
| | 資料6別紙 調査票P7 | バイオガス発電はどれくらいの効果が見込めるか数字で示さないと判断が難しい | バイオガス化による効果等については、現時点で具体的にお示しできる数値はありません。今年度、このことについて調査・研究を行う予定です。 |
| | 調査票P9 | 問13の一覧表は見難い。特に縦書き横書きが同居するため | 最終版のアンケート票では見開き2ページとし、できるだけ見やすくなるようレイアウトを変更しました。 |